

浜の活力再生プラン
令和 4～8 年度
第 1 期

1 地域水産業再生委員会

組織名	高知地区地域水産業再生委員会下ノ加江部会
代表者名	網野 和芳（高知県漁業協同組合下ノ加江地区委員長）

再生委員会の構成員	高知県漁業協同組合下ノ加江地区委員会、下ノ加江地区船主会、高知県漁業協同組合下ノ加江支所、土佐清水市、高知県土佐清水漁業指導所
オブザーバー	—

※再生委員会の規約及び推進体制の分かる資料を添付すること

対象となる地域の範囲及び漁業の種類	<p>地域：土佐清水市（下ノ加江地区、布地区）（高知県漁業協同組合下ノ加江支所管内）</p> <p>対象漁業種類：メジカ曳縄釣漁(38名)、曳縄釣・一本釣漁(34名)、カツオ竿釣漁(6経営体)、機船船びき網漁(1経営体)、延縄釣漁(1名)、建網漁(5名)</p> <p>※兼業含む</p> <p>※曳縄漁に一本釣漁含む</p>
-------------------	---

2 地域の現状

(1) 関連する水産業を取り巻く現状等

<p>当地区は高知県土佐清水市の北東部に位置し、メジカ（マルソウダ）を対象とするメジカ曳縄漁をはじめ、カツオやマグロ類を対象とした曳縄漁、カツオを対象としたカツオ竿釣漁、イワシやシラスを対象とした機船船びき網漁、ハモを対象とした延縄漁等の漁業が営まれている。</p> <p>土佐清水市では、メジカを原料とする宗田節の生産量日本一を誇っており、その漁獲量の大半を当地区のメジカ曳縄漁業者が漁獲している。全盛期には、市全体で年間1万トン以上のメジカの水揚げがあり、40社以上の宗田節加工業者がひしめいていたことから、土佐清水市の人口の1割がメジカ産業に関わって生活しているとまで言われていた。しかし、現在では水揚量の減少から深刻な原魚不足に陥っており、市内の加工業者数も以前の半分以下となっている。このような状況を受け、平成25年度より高知県漁協清水統括支所、下ノ加江支所、窪津支所（旧窪津漁協）、</p>

加工業者及び行政が対策を協議するための「土佐清水市メジカ需給調整対策協議会」を結成し、様々な問題の解決に向け取組んでおり、当地区の関係者もこの協議会に参画している。

また、魚価低迷や燃油高騰の影響は当地区においても深刻な課題で、漁業者の高齢化も併せて漁業経営の厳しさは増している。

(2) その他の関連する現状等

水産加工会社（土佐清水食品（株））が急速冷凍機を導入し、地元で仕入れた魚を加工して、県外のホテルやレストランへ販売を行っている。

3 活性化の取組方針

(1) 基本方針

漁業収入向上のための取組

①水揚物の高付加価値化、効率的な操業及び水揚げの安定化

- ・キハダマグロの船上での魚体処理や魚倉内の温度管理などの鮮度管理方法を確立することにより、単価を向上させる。
- ・有害生物（サメ）の駆除により、水揚量を維持する。
- ・市が管理する大型冷凍保管施設、共同加工施設、残渣処理施設の加工業者による利用を促進し、大量のメジカが漁獲される最盛期におけるメジカの保管及び加工量の増大につなげる。
- ・メジカの船上及び水揚げ後の鮮度管理を徹底して生食の普及を図ることにより、魚価を向上させる。
- ・メジカ餌料（シラス）の安定的な確保を図ることにより、メジカ曳縄漁業者が盛漁期において継続的に出漁できるよう支援する。

②漁業者の育成と魅力ある漁村づくり

- ・新規漁業就業希望者を対象とした漁労技術研修や漁船取得支援などの漁業就業総合支援事業の有効利用により、新規漁業就業者を確保する。
- ・漁業の短期及び長期研修に必要な漁業技術指導者の確保を進める
- ・地区漁業者が主体となり、地元で採れた水産物を提供するイベントの開催を支援するなどして、市内外から人が集まるような魅力ある漁村づくりを推進する。

③漁村とその周辺環境の保全及び水産資源の維持・増大

- ・水産業事業継続計画（BCP）に基づく災害対策の推進及びBCPの普及啓発により、災害発生時の減災や防災、災害発生後の漁業の継続や復興対策を進める。
- ・魚介類の種苗放流の実施により、地域の水産資源の維持・増大を図る。

<p>漁業コスト削減のための取組</p> <p>①燃油の急騰に対する備え</p> <ul style="list-style-type: none"> ・燃油の急騰による漁業コストの圧迫に備えるため、全漁業者の漁業経営セーフティネット構築支援事業への加入を推進する。 <p>②省燃油活動の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・減速航行など全漁業者の省燃油活動により、地区全体で低コスト操業の推進を図る。 ・漁期の始めに複数の漁業者が事前に決められた様々な海域に出漁し、メジカの漁場を探す漁場探索事業により、メジカ曳縄漁業者の効率的な操業を実現し、漁場探索にかかる燃油コストを削減する。

(2) 漁獲努力量の削減・維持及びその効果に関する担保措置

<p>漁獲努力量の削減等については、資源管理計画（休漁期の設定、操業時間及び漁獲制限等）を確実に履行している。また、操業にあたっては高知県漁業調整規則、海区漁業調整委員会指示等の法令を遵守している。</p>

※プランの取組に関連する漁業調整規則や漁業調整委員会指示等について記載する。

(3) 具体的な取組内容（毎年ごとに数値目標とともに記載）

1年目（令和4年度）所得 1.7%向上

<p>漁業収入向上のための取組</p>	<p>①水揚げ物の高付加価値化、効率的な操業及び水揚げの安定化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・曳縄及び一本釣漁業者は、高知県漁協下ノ加江支所（以下「支所」という。）と連携し、キハダマグロの付加価値を高めるため、キハダマグロの船上での魚体処理や魚倉内の温度管理などの鮮度管理方法を確立し、漁業者間で普及させる。 ・以前から土佐清水市内の立縄漁を始めとする漁業種では、サメによる漁具の破損や漁獲物の損失などサメ被害に悩まされてきた。そこで当地区の全漁業者は、市内の清水地区や窪津地区などの漁業者とも連携しながら、漁場におけるサメ被害対策としてサメ駆除を実施する。 ・「土佐清水市メジカ需給調整対策協議会」において、メジカ曳縄漁業者と加工業者間の需給のバランス等の課題について定期的に対応策を協議し、課題解決に向けて取り組む。また、土佐清水市は、当地区で水揚げされるメジカの保管及び加工量の増大につなげるため、市が管理する大型冷凍保管施設、共同加工施設、残渣処理施設の加工業者の利用を促進する。 ・メジカ曳縄漁業者、支所及び土佐清水漁業指導所（以下、指導所）は、県工業技術センターと連携し、通常は加工用原魚として扱われるメジカの生食普及を進めるため、メジカの船上及び水揚げ後の鮮度管理方法や生食で
---------------------	--

	<p>の安全性を検証する。</p> <ul style="list-style-type: none"> 支所は、高知県漁協及び県内の他漁協と連携して、メジカ餌料となるシラス（いわし類稚魚）の安定的な確保に取り組むことで、メジカ曳縄漁業者が盛漁期において継続的に出漁できるよう支援する。 <p>②漁業者の育成と魅力ある漁村づくり</p> <ul style="list-style-type: none"> 支所は、県が実施している漁業就業総合支援事業による漁労技術研修や漁船取得支援を積極的に活用し、新規就業者の受け入れを行う。若い新規就業者が増えることにより、漁村が活性化され、生産量及び漁業収入の維持につながる。 下ノ加江地区船主組合及び高知県漁業協同組合下ノ加江地区委員会（以下「下ノ加江地区委員会」という。）等の漁業者団体は、支所及び地元企業と連携して、市内外のイベントで地元水産物を使った加工品を提供する。また、下ノ加江地区で地元水産物をPRするイベントを開催するなどして魅力ある漁村づくりに取り組む。 <p>③漁村とその周辺環境の保全及び水産資源の維持・増大</p> <ul style="list-style-type: none"> 支所及び全漁業者は、水産業BCPに基づき、避難訓練を定期的実施するなど災害発生時の減災及び防災対策に取り組むとともに、災害発生後の漁業の継続及び復興対策を進める。 土佐清水市は、ヒラメなどの魚介類の種苗放流を行うことで、有用水産資源の維持及び増大を図る。
<p>漁業コスト削減のための取組</p>	<p>①燃油の急騰に対する備え</p> <ul style="list-style-type: none"> 支所は、燃油の急騰による漁業コストの圧迫に備えるため、全漁業者の漁業経営セーフティネット構築支援事業への加入を推進する。 <p>②省燃油活動の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> 全漁業者は、減速航行の徹底、定期的な船底清掃の実施による航行時の抵抗削減、不要不急な積載物の削減による船体の軽量化など、省燃油に繋がる活動を実施し、燃油消費量を抑制する。 メジカ曳縄漁業者は、支所及び土佐清水市と連携して、漁期の始めにメジカの漁場探索事業を実施し、個々人での漁場探索に必要な年間の燃油消費量を削減する。
<p>活用する支援措置等</p>	<p>漁業経営セーフティネット構築支援事業 高知県漁業就業総合支援事業 種子島周辺漁業対策支援事業</p>

	リマ区域周辺漁業用施設設置事業
--	-----------------

2年目（令和5年度）所得 1.7%向上

<p>漁業収入向上のための取組</p>	<p>①水揚物の高付加価値化、効率的な操業及び水揚げの安定化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・曳縄及び一本釣漁業者は、支所と連携し、キハダマグロの付加価値を高めるため、キハダマグロの船上での魚体処理や魚倉内の温度管理などの鮮度管理方法を漁業者間で普及させる。 ・全漁業者は、市内の清水地区や窪津地区などの漁業者とも連携しながら、漁場におけるサメ被害対策としてサメ駆除を継続的に実施する。 ・「土佐清水市メジカ需給調整対策協議会」において、メジカ曳縄漁業者と加工業者間の需給のバランス等の課題について定期的に対応策を協議し、課題解決に向けて取り組む。また、土佐清水市は、当地区で水揚げされるメジカの保管及び加工量の増大につなげるため、市が管理する大型冷凍保管施設、共同加工施設、残渣処理施設における加工業者の利用を促進する。 ・メジカ曳縄漁業者、支所及び指導所は、県工業技術センターと連携し、メジカの生食普及を進めるため、メジカの船上及び水揚げ後の鮮度管理方法や生食での安全性の検証を継続する。 ・支所は、高知県漁協及び県内の他漁協と連携して、メジカ餌料となるシラスの安定的な確保に取り組むことで、メジカ曳縄漁業者が盛漁期において継続的に出漁できるよう支援する。 <p>②漁業者の育成と魅力ある漁村づくり</p> <ul style="list-style-type: none"> ・支所は、県が実施している漁業就業総合支援事業による漁労技術研修や漁船取得支援を積極的に活用し、新規就業者の受け入れを行う。 ・下ノ加江地区船主組合及び下ノ加江地区委員会等の漁業者団体は、支所及び地元企業と連携して、市内外イベントで地元水産物を使った加工品を提供する。また、下ノ加江地区で地元水産物を PR するイベントを開催するなどして魅力ある漁村づくりに取り組む。 <p>③漁村とその周辺環境の保全及び水産資源の維持・増大</p> <ul style="list-style-type: none"> ・支所及び全漁業者は、水産業 BCP に基づき、避難訓練を定期的実施するなど災害発生時の減災及び防災対策に取り組むとともに、災害発生後の漁業の継続及び復興対策を進める。
---------------------	--

	<ul style="list-style-type: none"> ・土佐清水市は、ヒラメなどの魚介類の種苗放流を行うことで、有用水産資源の維持及び増大を図る。
漁業コスト削減のための取組	<p>①燃油の急騰に対する備え</p> <ul style="list-style-type: none"> ・支所は、燃油の急騰による漁業コストの圧迫に備えるため、全漁業者の漁業経営セーフティネット構築支援事業への加入を推進する。 <p>②省燃油活動の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全漁業者は、減速航行の徹底、定期的な船底清掃の実施による航行時の抵抗削減、不要不急な積載物の削減による船体の軽量化など、省燃油に繋がる活動を実施し、燃油消費量を抑制する。 ・メジカ曳縄漁業者は、支所及び土佐清水市と連携して、漁期の始めにメジカの漁場探索事業を実施し、個々人での漁場探索に必要となる年間の燃油消費量を削減する。
活用する支援措置等	漁業経営セーフティネット構築支援事業 高知県漁業就業総合支援事業 種子島周辺漁業対策支援事業 リマ区域周辺漁業用施設設置事業

3年目（令和6年度）所得3.1%向上

漁業収入向上のための取組	<p>①水揚げ物の高付加価値化、効率的な操業及び水揚げの安定化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・曳縄及び一本釣漁業者は、確立した方法によるキハダマグロの船上での魚体処理や魚倉内の温度管理などの鮮度管理を徹底し、単価を向上させる。 （目標単価 807 円/kg、基準単価（689 円/kg）から 17%向上） ・全漁業者は、市内の清水地区や窪津地区の漁業者とも連携しながら、漁場におけるサメ被害対策としてサメ駆除を継続的に実施する。 ・「土佐清水市メジカ需給調整対策協議会」において、メジカ曳縄漁業者と加工業者間の需給のバランス等の課題について定期的に対応策を協議し、課題解決に向けて取り組む。また、土佐清水市は、当地区で水揚げされるメジカの保管及び加工量の増大につなげるため、市が管理する大型冷凍保管施設、共同加工施設、残渣処理施設における加工業者の利用を促進する。 ・メジカ曳縄漁業者、支所及び指導所は、県工業技術センターと連携し、メジカの生食普及を進めるため、メジカの生食での安全性の検証を終え、メジカを安全に生食できる船上及び水揚げ後の鮮度管理方法を定める。 ・支所は、高知県漁協及び県内の他漁協と連携して、メジカ餌料となるシラスの安定的な確保に取り組むことで、メジカ曳縄漁業者が盛漁期において
--------------	---

	<p>継続的に出漁できるよう支援する。</p> <p>②漁業者の育成と魅力ある漁村づくり</p> <ul style="list-style-type: none"> 支所は、県が実施している漁業就業総合支援事業による漁労技術研修や漁船取得支援を積極的に活用し、新規就業者の受け入れを行う。 下ノ加江地区船主組合、下ノ加江地区委員会等の漁業者団体は、支所及び地元企業と連携して、市内外のイベントで地元水産物を使った加工品を提供する。また、下ノ加江地区で地元水産物を PR するイベントを開催するなどして魅力ある漁村づくりに取り組む。 <p>③漁村とその周辺環境の保全及び水産資源の維持・増大</p> <ul style="list-style-type: none"> 支所及び全漁業者は、水産業 BCP に基づき、避難訓練を定期的実施するなど災害発生時の減災及び防災対策に取り組むとともに、災害発生後の漁業の継続及び復興対策を進める。 土佐清水市は、ヒラメなどの魚介類の種苗放流を行うことで、有用水産資源の維持及び増大を図る。
漁業コスト削減のための取組	<p>①燃油の急騰に対する備え</p> <ul style="list-style-type: none"> 支所は、燃油の急騰による漁業コストの圧迫に備えるため、全漁業者の漁業経営セーフティネット構築支援事業への加入を推進する。 <p>②省燃油活動の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> 全漁業者は、減速航行の徹底、定期的な船底清掃の実施による航行時の抵抗削減、不要不急な積載物の削減による船体の軽量化など、省燃油に繋がる活動を実施し、燃油消費量を抑制する。 メジカ曳縄漁業者は、支所及び土佐清水市と連携して、漁期の始めにメジカの漁場探索事業を実施し、個々人での漁場探索に必要な年間の燃油消費量を削減する。
活用する支援措置等	<p>漁業経営セーフティネット構築支援事業</p> <p>高知県漁業就業総合支援事業</p> <p>種子島周辺漁業対策支援事業</p> <p>リマ区域周辺漁業用施設設置事業</p>

4年目（令和7年度）所得 6.5%向上

漁業収入向上のための取組	<p>①水揚物の高付加価値化、効率的な操業及び水揚げの安定化</p> <ul style="list-style-type: none"> 曳縄及び一本釣漁業者は、キハダマグロの船上での魚体処理や魚倉内の温度管理などの鮮度管理を徹底し、単価を向上させる。(目標単価 924 円/kg、
--------------	---

	<p>基準単価から 34%向上)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全漁業者は、市内の清水地区や窪津地区の漁業者とも連携しながら、漁場におけるサメ被害対策としてサメ駆除を継続的に実施する。 ・「土佐清水市メジカ需給調整対策協議会」において、メジカ曳縄漁業者と加工業者間の需給のバランス等の課題について定期的に対応策を協議し、課題解決に向けて取り組む。また、土佐清水市は、当地区で水揚げされるメジカの保管及び加工量の増大につなげるため、市が管理する大型冷凍保管施設、共同加工施設、残渣処理施設における加工業者の利用を促進する。 ・メジカ曳縄漁業者及び支所は、前年に定めた「メジカを安全に生食するための船上及び水揚げ後の鮮度管理方法」に基づく鮮度管理を徹底して行い、土佐清水市内の飲食店での生食普及を進める。指導所は、メジカ曳縄漁業者及び支所の鮮度管理の徹底を指導する。 ・支所は、高知県漁協及び県内の他漁協と連携して、メジカ餌料となるシラスの安定的な確保に取り組むことで、メジカ曳縄漁業者が盛漁期において継続的に出漁できるよう支援する。 <p>②漁業者の育成と魅力ある漁村づくり</p> <ul style="list-style-type: none"> ・支所は、県が実施している漁業就業総合支援事業による漁労技術研修や漁船取得支援を積極的に活用し、新規就業者の受け入れを行う。 ・下ノ加江地区船主組合、下ノ加江地区委員会等の漁業者団体は、支所及び地元企業と連携して、市内外のイベントで地元水産物を使った加工品を提供する。また、下ノ加江地区で地元水産物を PR するイベントを開催するなどして魅力ある漁村づくりに取り組む。 <p>③漁村とその周辺環境の保全及び水産資源の維持・増大</p> <ul style="list-style-type: none"> ・支所と全漁業者は、水産業 BCP に基づき、避難訓練を定期的実施するなど災害発生時の減災及び防災対策に取り組むとともに、災害発生後の漁業の継続及び復興対策を進める。 ・土佐清水市は、ヒラメなどの魚介類の種苗放流を行うことで、有用水産資源の維持及び増大を図る。
<p>漁業コスト削減のための取組</p>	<p>①燃油の急騰に対する備え</p> <ul style="list-style-type: none"> ・支所は、燃油の急騰による漁業コストの圧迫に備えるため、全漁業者の漁業経営セーフティネット構築支援事業への加入を推進する。 <p>②省燃油活動の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全漁業者は、減速航行の徹底、定期的な船底清掃の実施による航行時の抵

	<p>抗削減、不要不急な積載物の削減による船体の軽量化など、省燃油に繋がる活動を実施し、燃油消費量を抑制する。</p> <ul style="list-style-type: none"> メジカ曳縄漁業者は、支所及び土佐清水市と連携して、漁期の始めにメジカの漁場探索事業を実施し、個々人での漁場探索に必要な年間の燃油消費量を削減する。
活用する支援措置等	<p>漁業経営セーフティネット構築支援事業</p> <p>高知県漁業就業総合支援事業</p> <p>種子島周辺漁業対策支援事業</p> <p>リマ区域周辺漁業用施設設置事業</p>

5年目（令和8年度）所得 11.1%向上

漁業収入向上のための取組	<p>①水揚物の高付加価値化、効率的な操業及び水揚げの安定化</p> <ul style="list-style-type: none"> 曳縄及び一本釣漁業者は、キハダマグロの船上での魚体処理や魚倉内の温度管理などの鮮度管理を徹底し、単価を向上させる。（目標単価 1,135 円/kg、基準単価から 65%向上） 全漁業者は、市内の清水地区や窪津地区の漁業者とも連携しながら、漁場におけるサメ被害対策としてサメ駆除を継続的に実施する。 「土佐清水市メジカ需給調整対策協議会」において、メジカ曳縄漁業者と加工業者間の需給のバランス等の課題について定期的に対応策を協議し、課題解決に向けて取り組む。また、土佐清水市は、当地区で水揚げされるメジカの保管及び加工量の増大につなげるため、市が管理する大型冷凍保管施設、共同加工施設、残渣処理施設における加工業者の利用を促進する。 メジカ曳縄漁業者、支所は、3年目に定めた「メジカを安全に生食するためのメジカの船上及び水揚げ後の鮮度管理方法」に基づく鮮度管理を引き続き徹底して行い、土佐清水市内の宿泊施設及び周辺市町村の飲食店での生食普及を進める。指導所は、前年に引き続きメジカ曳縄漁業者及び支所の鮮度管理の徹底を指導する。 支所は、高知県漁協及び県内の他漁協と連携して、メジカ餌料となるシラスの安定的な確保に取り組むことで、メジカ曳縄漁業者が盛漁期において継続的に出漁できるよう支援する。 <p>②漁業者の育成と魅力ある漁村づくり</p> <ul style="list-style-type: none"> 支所は、県が実施している漁業就業者総合支援事業による漁労技術研修や漁船取得支援を積極的に活用し、新規就業者の受け入れを行う。 下ノ加江地区船主組合、下ノ加江地区委員会等の漁業者団体は、支所及び地元企業と連携して、市内外のイベントで地元水産物を使った加工品
--------------	--

	<p>を提供する。また、下ノ加江地区で地元水産物を PR するイベントを開催するなどして魅力ある漁村づくりに取り組む。</p> <p>③漁村とその周辺環境の保全及び水産資源の維持・増大</p> <ul style="list-style-type: none"> 支所及び全漁業者は、水産業 BCP に基づき、避難訓練を定期的実施するなど災害発生時の減災及び防災対策に取り組むとともに、災害発生後の漁業の継続及び復興対策を進める。 土佐清水市は、ヒラメなどの魚介類の種苗放流を行うことで、有用水産資源の維持及び増大を図る。
漁業コスト削減のための取組	<p>①燃油の急騰に対する備え</p> <ul style="list-style-type: none"> 支所は、燃油の急騰による漁業コストの圧迫に備えるため、全漁業者の漁業経営セーフティネット構築支援事業への加入を推進する。 <p>②省燃油活動の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> 全漁業者は、減速航行の徹底、定期的な船底清掃の実施による航行時の抵抗削減、不要不急な積載物の削減による船体の軽量化など、省燃油に繋がる活動を実施し、燃油消費量を抑制する。 メジカ曳縄漁業者は、支所及び土佐清水市と連携して、漁期の始めにメジカの漁場探索事業を実施し、個々人での漁場探索に必要となる年間の燃油消費量を削減する。
活用する支援措置等	<p>漁業経営セーフティネット構築支援事業</p> <p>高知県漁業就業総合支援事業</p> <p>種子島周辺漁業対策支援事業</p> <p>リマ区域周辺漁業用施設設置事業</p>

(4) 関係機関との連携

取組の効果が十分に発揮されるように、系統団体（高知県漁業協同組合等）、地域団体（土佐清水市水産振興協議会）等との連携を強めるとともに、県内外の流通・販売業者、飲食店等についても新たな連携を構築する。

4 目標

(1) 所得目標

漁業所得の向上 10%以上	基準年	平成 28—令和 2 年の 5 中 3 平均 漁業所得（地区総額） 千円
	目標年	令和 8 年度 漁業所得（地区総額） 千円

(2) 上記の算出方法及びその妥当性

--

(3) 所得目標以外の成果目標

メジカの生食普及による魚価向上	基準年	平成28-令和2年の5中3平均 116 円/kg
	目標年	令和8年度 118 円/kg
キハダマグロの鮮度管理による魚価向上	基準年	平成28-令和2年の5中3平均 689 円/kg
	目標年	令和8年度 1,135 円/kg

5 関連施策

活用を予定している関連施策名とその内容及びプランとの関係性

事業名	事業内容及び浜の活力再生プランとの関係性
漁業経営セーフティネット構築支援事業	燃油価格高騰時に補填を受け漁業経営の安定を図る。
漁業就業総合支援事業	新規漁業就業希望者の受け入れにより、漁業後継者の確保と地域の活性化を図る。
種子島周辺漁業対策支援事業	各種水産加工施設の整備を行い、メジカ漁獲量の向上と水産加工業の振興を図る。
リマ区域周辺漁業施設設置事業	各種水産加工施設の整備を行い、メジカ漁獲量の向上と水産加工業の振興を図る。

※関連事業には、活用を予定している国（水産庁以外を含む）、地方公共団体等の補助金・基金等を記載。ただし、本欄への記載をもって、事業の活用を確約するものではない。

※具体的な事業名が記載できない場合は、「事業名」は「未定」とし、「事業内容及び浜の活力再生プランとの関係性」のみ記載する。